



支援者のみなさまへ

生徒や教師および関係者のためにご支援くださっているみなさまに心から感謝いたします。子どもたちが教育を受けられることをありがたく思っています。

しかし、状況は常に厳しいものです。基本的な必要さえ完全に満たされることはありません。熱帯地方に特有の問題は屋根がたびたび壊れることです。机や椅子が十分ないので別の階の教室に行くときは、それも移動しなくてはなりません。お湯のシャワーはなく、ノートも十分ないので生徒たちの教科書は書き込みでいっぱいです。大きな学校では一年間に 100 個以上の電球が必要です。自給のための方策を講じていますが、それさえも初期資金が必要です。

フィリピン、ダバオの DMI スクール

ダバオの DMI スクールには幼稚園から大学までの 100 人の児童、生徒、学生がいます。米国の学期を採用していますので、新学期が始まりました。この学校のレベルは高く、大学を卒業後はろう学校の教師や牧師になる学生もいます。ろう者の教育について学ぶ他大学の実習生を受け入れることもあります。地域のイベントなどで成果を披露することもあり、高い評価を得ています。ダバオのボーイスカウトやガールスカウトに所属する生徒もいます。十数名の生徒は孤児なので休暇中に戻る家がありません。お互いが家族です。

3 月には 6 人の学生が大学、8 人が高校、3 人が幼稚園を卒業しました。懸命に学び、よい成績を収めました。学生たちと学校を支援してくださった方々に感謝します。まだ完成していない施設があります。食堂は雨漏りし、コンクリート床の下にあった水道管が地震のために壊れたので、水道設備を入れ替えるなくてはなりません。施設のための指定献金をお願いできないでしょうか。ミンダナオ島のカガヤン・デ・オロのゴム農園と養豚の事業は順調でろう者に就業の場を提供しています。主に感謝します。



フィリピン、リガオの DMI スクール

リガオでは 10 人の中高生、4 人の小学生、4 人の幼稚園児が卒業しました。みんなよくがんばりました。3 月に終業式が行われ、生徒たちは休暇で帰郷します。6 月からは新たな学年が始まります。リガオでも生徒たちは地域の祝祭イベントに参加します。3 人の生徒は特別学校間のタレント競技会に参加しました。多くの卒業生は DMI が地域に設立したろう者の教会に集っています。

小規模ビジネスの試みは順調です。学校の卒業生には職業訓練と少額のローンを提供し、社会人として自立できるよう支援します。これは DMI が目指していることのひとつです。小規模ビジネスの一例は、道端に露店を出して自分で育てた作物や、料理した食べ物を売る、家でネイルサロンをする、プリペイド携帯のカードを売るなどです。



フィリピン、ビサヤ島のバコロドの DMI スクール

ここでは 12 人の小中高等学校の児童生徒が学んでいます。彼らの生い立ちは非常に感動的です。ほとんどの子どもたちは、就学年齢をかなり過ぎてから学び始めました。親がいなかったり、ろう者も教育を受けられることを知らなかったり、子どもを就学させる経済的余裕がなかったり、以前は、子守をしたり、祖父母の世話をしたり、家事や農業を手伝ったりしていました。教育を受けることで、彼らの人生は大きく変わることができたので、スポンサーシップに心から感謝しています。2 組のろう者の家族はウズラの養殖などを行っています。ザンボアングタの農場は順調です。2 人の聾者が養豚と野菜農園で働いて自立しています。カナダ人のダグとヴァルの支援を得て、新たに土地を購入し、養豚場を拡大し、マンゴ園を作る計画が立てられています。



エジプト

エジプトではろう者の就労は難しいので大変です。DMI は 4 都市でろう者の教会を支援しています。この方々の安全が目下の気がかりです。クリスマス会や母の日祝会が開かれ賞品もあつことは、彼らにとって明るい出来事でした。4 つの教会では主日礼拝の後、食事がふるまわれました。子どもたちの学校では、今月は卒業試験です。木工工場プロジェクトをスタートさせたいと願っていますが、作業場の家賃と材料費をまかなうための支援が必要です。指定献金をご検討くださると感謝です。

ルワンダとザンビア

ザンビアの寄宿舎にいるハスティンズとマリザは元気です。ルワンダのアルフォンシーネはすばらしい学業成績を修

めました。彼女がルワンダのろう者のリーダーになってくれることを願っています。ただ、彼らの学費は高額ですので、ぜひともご支援をお願いいたします。

ミャンマー、カレイのミューアろう学校



学校の名前が変わりました。「ミューア」はビルマ語で「幸せな場所」という意味なので、そうしたいと強く要望されたのです。ネヴィルとリル（ミューア夫妻）は、学校が生徒たちの「幸せな場所」であることを願っていますから、自分たちの名字が使われることをしつこく承知しました。ある児童はアシャー症候群だと診断されたため、目が見える間にできるだけの教育を提供しようと最善を尽くしています。生徒の中には彼のように、耳が聞えないだけでなく別の問題を抱えている者もいます。

浴室が完成し、自動ポンプが取り付けられました。もう旧式の手動式ポンプで水をくみ上げなくてもよいのです。新しい建物はすばらしい資産です。二階の大きな部屋はろう者の教会の礼拝に使われたり、雨季の間は学校の卓球場になったりします。生徒はまだ中学高校レベルなので、職業訓練はまだ始まっていません。ここで育った子どもたちが、将来、ろう者のリーダーになっていくことを願っています。4月には再度「キャンプ」が開かれ、ピントー村の人たちは、歌などの才能を磨いています。この村に DMI が来て 5 年になりますが、その間で彼らの生活は大きく変えられ前進しました。

インマヌエルろう者クリスチャンスクール（ケニア）

生徒たちは全員、進級試験に合格しました。これはすばらしい成果です。3 人の生徒は国立高校の入学試験に合格しました。女子のひとりがクジャ高校、男子のひとりは高等専門学校で木工、機械、溶接などの技術を学びます。このような教育は、将来、就職して自立し、家族を支援していくために大切です。

難聴の生徒には他の団体によって補聴器が提供されました。また、難聴のボランティア教師も働いています。彼女は生徒や教員たちを大きく励ましてくれます。生徒たちは健聴者の学校といっしょに音楽祭に出場しました。男子は民族ダンス、女子はスコットランドダンスを披露しました。24 人の生徒は全国音楽大会の出場権を手に入れました。しかし、学校には彼らを大会に出場させるための十分な旅費がありません。この状況はスポーツでも同じです。一生懸命練習して地区大会を勝ち抜いても全国大会には行けないのです。

二頭の牛を購入して畑を耕しています。とうもろこし、大豆、さつまいもなどが育っています。二頭目の乳牛も購入しました。7 月には十分な牛乳が生産できることを願っています。卵を産むニワトリもいます。学校の農場で採れた良い食物を生徒たちに食べさせることができます。経費の面でも節約になっています。

ベットも追加できました。これで生徒たちは一人ずつ自分のベットで眠ることができます。寄宿舎の建設で余ったブロックで職員室を建てています。ここまで来るのに 5 年以上かかりました。大変でしたが、とても幸せな学校になりました。



ウガンダ

ハキンとアブソム（写真）は、長い間支援を受けてきた年長の生徒です。ふたりは訓練を終え、面接試験を受けて、ろう者の教師として働き出しました。ふたりとも、ここまでよく頑張りました。ルツとサイモンも教師に採用されました。

スポンサーシップは彼らの夢を実現させてくれました。教育を受けるチャンスが与えられるなら、ろうの子どもたちもこのようになれるのです。他に 3 人の生徒が木工、家政、縫製を高等専門学校で学んでいます。マライカ美容学校で学んでいる生徒もいます。彼女は学校でただひとりのろう者です。3 人の男子はカヤンボゴ大学に進みました。ジョセフはミケランジェロ美術学校で優秀な成績を修めています。すでに 2 度の個展を開きました。海外からの観光客が彼の作品を評価してくれています。

ワキノ中学高等学校には 文部省より 40 台のパソコンと運動具が供与され、生徒たちは興奮しています。ワキノは地域のスポーツ振興のために設立された学校です。地域の 6 つの小中学校を対象にスポーツ大会を催しました。私たちのところからは、6 人の生徒がこの学校に通っています。今期の二人の卒業生は教育大学の入学を待っているところです。



ミッターナの聖マリア学校とマサカの聖マルコ VII 世学校の生徒たちも元気に良い成績を残しています。スポンサーのみなさまに心から感謝しています。

スポンサーシップと一般寄付に感謝いたします。

私たちの学校は節約しながら寄付や支援金を感謝して大切に使っています。

ジェニー・リード

DMI 本部 国際スポンサーシップ コーディネーター